

2 がん医療の充実

（5）緩和ケアの推進 計画P 54-55

≪第3期大阪府がん対策推進計画における個別目標及びモニタリング指標≫

	個別目標	計画策定時の状況	現在の状況	2023年度の目標
1	がん患者の緩和ケアに対する満足度（痛み、不安、治療方法や療養場所、経済面、家族への配慮等への対応に係る非常に思う、そう思う平均値） 【がん患者ニーズ調査】	58.6% 【平成28（2016）年度】	61.6% 【令和元（2019）年度】	100%

	モニタリング指標	計画策定時の状況	現在の状況
1	緩和ケアチームの新規診療症例数 【がん診療拠点病院現況報告】	10,885件／64病院 （小児がん除く） 【平成28（2016）年】	14,088件／66病院 （小児がん除く） 【令和元（2019）年】
2	緩和ケア研修累積受講者数 【大阪府調べ】	10,788名（コメディカル含む） 【平成29年12月末日現在】	13,726名（コメディカル含む） 【令和2年12月末日現在】
3	在宅緩和ケアに取り組む医療機関数 【がん診療拠点病院現況報告】	965医療機関／64病院 （小児がん除く） 【平成29（2017）年9月1日現在】	1,693医療機関／66病院 （小児がん除く） 【令和元（2019）年9月1日現在】
4	がん患者の緩和ケアに対する理解度の向上（知らない・あまり知らないの合計） 【がん患者ニーズ調査】	49.6% 【平成28（2016）年度】	41.4% 【令和元（2019）年度】

現状・課題

◆緩和ケアについて広く府民に対する普及啓発を図るとともに、提供体制の充実、緩和ケア研修会の受講促進等に努める必要がある。

これまで (H30～ R2年度)の 取組

《緩和ケアの普及啓発》

- がん診療拠点病院における緩和ケアについての正しい知識の普及・浸透を目的とした補助金を交付。
- 健康関連イベントで緩和ケアに関するリーフレットを配布。

《質の高い緩和ケア提供体制の確保》

- 大阪国際がんセンターと連携し、苦痛に関するスクリーニングマニュアルを作成。
- 人材配置等におけるモデルについて、大阪府がん診療連携協議会緩和ケア部会と検討。緩和ケアに関する診療提供体制について、大阪府がん対策推進委員会がん診療連携検討部会緩和ケア推進ワーキングと検討を行い大阪府がん診療拠点病院の指定要件を見直し。
- がん診療連携拠点病院における緩和ケアセンターの機能強化を目的とした補助金を交付。

《緩和ケアに関する人材育成》

- 大阪府がん診療拠点病院の緩和ケア研修（PEACE研修）受講率向上に向け、府拠点病院にアンケート調査を実施。
- 大阪府がん診療連携協議会緩和ケア部会と連携し、緩和ケア研修修了者に対するフォローアップ研修を実施。
- 大阪府がん診療連携協議会緩和ケア部会と連携し、アドバンス・ケア・プランニング研修を実施。
- がん診療拠点病院や府医師会等における緩和ケアに携わる人材養成の推進を目的とした補助金を交付。

《在宅緩和ケアの充実》

- 大阪府がん診療連携協議会緩和ケア部会を通じ、大阪府がん緩和地域連携パスを作成・周知。
- 二次医療圏ネットワーク協議会における、地域連携パス運用や在宅を含む緩和医療提供体制の構築等を目的とした補助金を交付。
- がん診療連携拠点病院における在宅緩和ケア地域連携事業に対し補助金を交付。

今後の取組 予定

《課題》

- 緩和ケアに関する正しい知識の更なる普及。
- 在宅緩和ケア及びアドバンス・ケア・プランニングに関する医療従事者の知識の習得・向上。
- 緩和ケア研修受講後の医療従事者の知識の向上。
- 府拠点病院における緩和ケア研修受講率向上。

《令和3年度の取組予定》

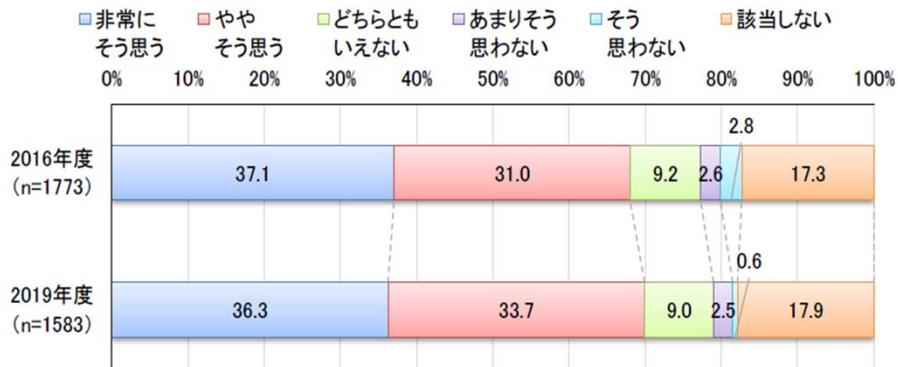
- 緩和ケアの普及啓発を行うとともに、人材養成研修、緩和ケア研修フォローアップ研修、アドバンス・ケア・プランニング研修を実施。
- 府拠点病院における緩和ケア研修会受講率向上に向けた取組みをがん診療連携協議会と連携し検討。

令和元年度大阪府がん患者状況調査

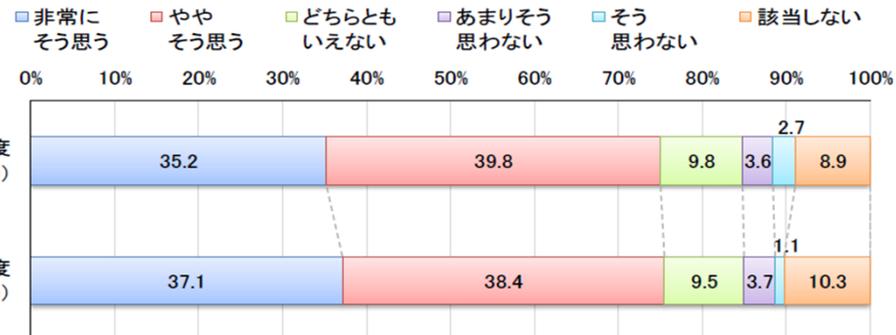
がん患者の緩和ケアに対する満足度

(①痛み、②不安、③治療方法や療養場所、④経済面、⑤家族への配慮等への対応に係る非常に思う、そう思う平均値)

①現在かかっている病院において、
痛みなどのつらい症状があった時にすぐに対応してくれた

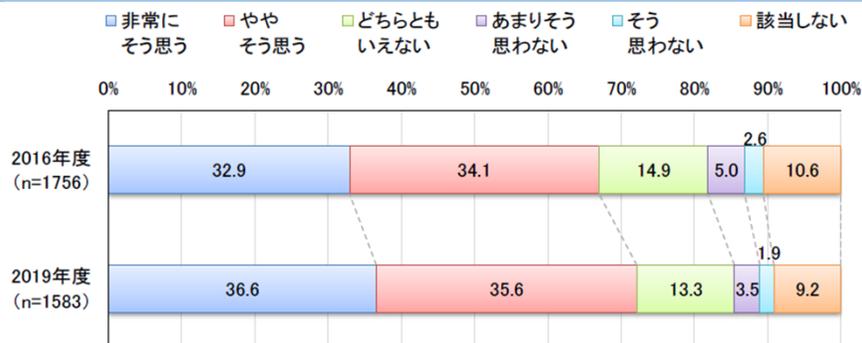


②現在かかっている病院において、
あなたが不安の思っていることについて話を聞いてくれた

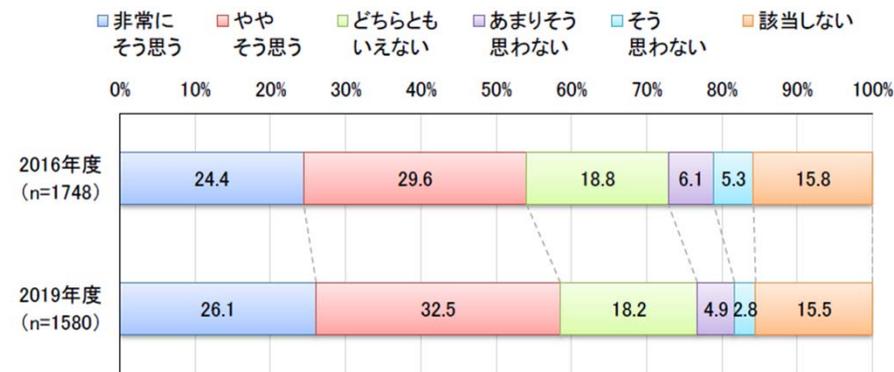


つらい症状や不安に対応してくれたと感じていた者の割合は、該当しない者を除くと8割を超え、2016年度からわずかに増加した。

③現在かかっている病院において、
あなたが治療方法や療養場所を選択する際に何が最善の選択肢かを
一緒に考えてくれた



⑤現在かかっている病院において、
あなただけではなくあなたの家族にも配慮してくれた



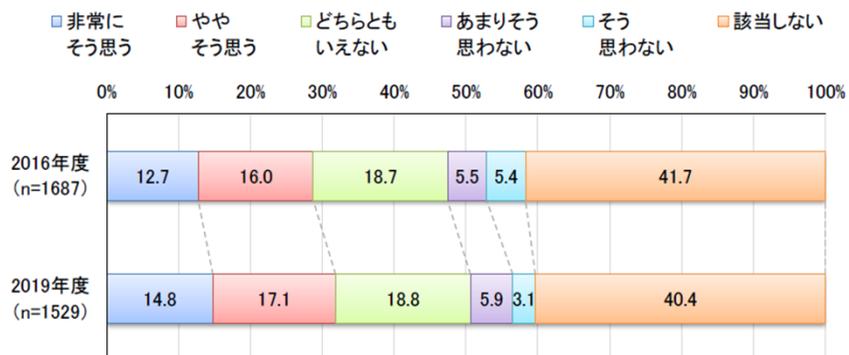
治療方法や療養場所の決定への支援、家族への配慮があったと感じていた者は、該当しない者を除くと7~8割となり、2016年度から増加していた。

令和元年度大阪府がん患者状況調査

がん患者の緩和ケアに対する満足度

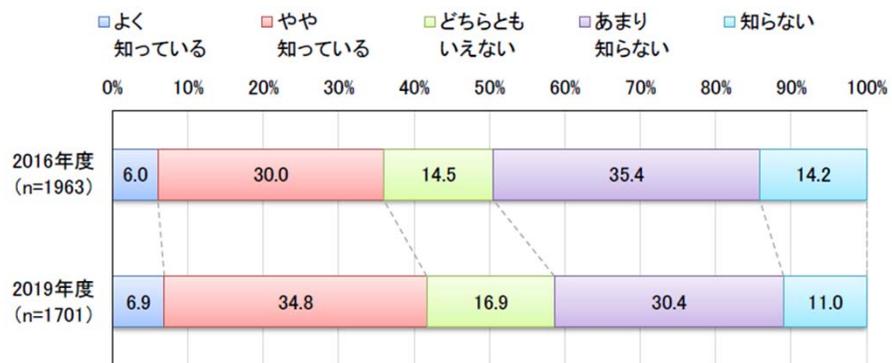
(①痛み、②不安、③治療方法や療養場所、④経済面、⑤家族への配慮等への対応に係る非常に思う、そう思う平均値)

④現在かかっている病院において、あなたが経済面での相談を必要としている時に役立つ情報などを紹介してくれた

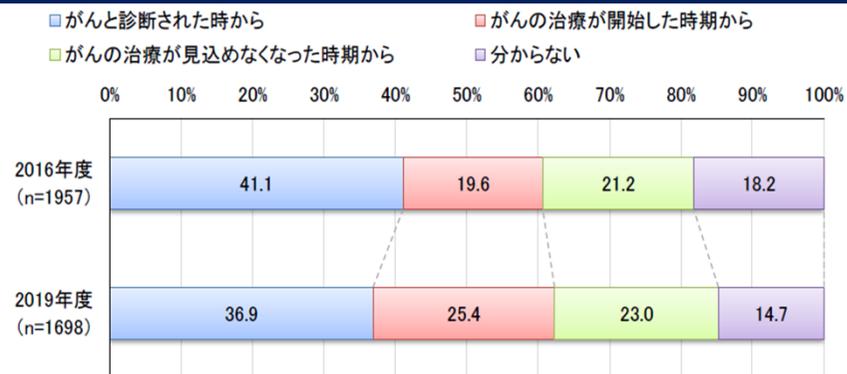


経済面での相談を必要としているときに役立つ情報などを紹介してくれたと感じていた者は、該当しない者を除くと半数程度（53.4%）にとどまり、2016年度に比べてわずかに増加していた。

がん医療における緩和ケアについてよく知っていますか



緩和ケアは、いつからはじまるものと思いますか



緩和ケアに関する認知度について「よく知っている」「知っている」と回答した者の合計が4割を超え、前回より緩和ケアに対する認知が高まった。

しかし、がん医療における緩和ケアに関する認識は乏しく、引き続き緩和ケアに関する普及啓発は必要